

2015年6月25日 第74号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

大阪府民集会に 4000 人、カンパ 71 万超



6月23日、国民大運動大阪実行委員会、安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会、大阪憲法会議実行委員会が主催した、許すな戦争する国づくり、守れ！憲法と平和、いのちとくらし STOP安倍政権「戦争法案」阻止！6・23府民集会には、4000人が参加しました。

扇町公園での集会では、9月27日までの国会会期延長強行に抗議し、情勢報告をかねて辰巳孝太郎日本共産党参議院議員があいさつ。

決意表明では大阪憲法会議から八尾憲法連絡会の大田久夫さんが地域での共同を広げるこの間のとりくみについて発言しました。

集会宣言を採択し、閉会あいさつでは梅田章二(副実行委員長、大阪憲法会議幹事長)が「安倍政権に未来はない、未来は我々主権者の運動のなかにある。圧倒的な府民世論をつくりあげ、戦争法案を廃案に追いこんでいこう」と力強くよびかけました。会場でよびかけたカンパは、71万4941円集まりました。

集会後は西梅田まで、「安倍政権万は憲法を守れ」「労働法制の改悪反対」、「いのち、くらしを守る政治をおこなえ」のシュプレヒコールを上げながら、デモ行進しました。

(大阪憲法しんぶん速報版 NO.322 より)

「戦争法案今すぐ廃案！」国会に 30000 人

6月24日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会主催の国会包囲行動が行われ、14日(25000人)を上回る3万人が国会に結集しました。法案が国会に提出されてから最大規模の行動で、戦争法案を廃案に追い込もうと「戦争法案今すぐ廃案」「安倍政権は今すぐ退陣」のコールが響きました。日本共産党からは志位和夫委員長はじめ衆参両院議員20人が参加。志位氏が「5割から6割の反対の声を、7割、8割へと圧倒的多数にし、国民の世論と運動で採決強行ができない、法案を撤回するしかない状況に追い込もう」と訴えると、「そうだ」の声と拍手がわき起こりました。

民主、社民、生活の各党国会議員がスピーチ。作家の澤地久枝さんや雨宮処凛さん、日本弁護士連合会の山岸良太・憲法問題対策本部長代行らがスピーチしました。

総がかり行動実行委員会を代表して全労連・小田川義和議長が行動提起。毎週木曜日の国会前総がかり行動や7月14日、26日の大規模集会などを紹介し、「廃案まで署名、宣伝など、世論を地域から広げに広げよう」と呼びかけました。





総がかり行動実行委員会 民主党に要請

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は民主党の岡田代表と福山幹事長代理に①戦争法案である「平和安全法制整備法案」と「国際平和支援法案」の廃案を求める②憲法に基づき、武力によらない平和と安全の構築の追求の2項目について、議員要請行動を行いました。憲法共同センターを代表して全労連・小田川議長は、各地での活動では、全ての野党に出席してもらったところほど活動が一層元気になる状況だと説明、「国会内の様子を、生の声で伝えていただくとさらに元気、エネルギーが出るのでぜひご検討を」と求めました。

岡田代表、福山幹事長代理は、「今の状態で強行採決は考えにくいと思うが、国民に危機感を持ち続けてもらうことが大事」「相当な持久戦になる。空気を上げていただかないと厳しい」と、それぞれ世論喚起に向けた国会外での取り組みの重要性を強調。福山氏は毎週木曜日の国会前集会に加え、7月には都内での大規模集会や全国各地での活動も予定しているとして、「東京から、地方からもっと活動の輪を広げていきたい」と述べました。

明日6月26日、安保（戦争）法制特別委員会の傍聴を！

- ・午前9時から午後5時までの日程で安倍首相が出席します。
- ・傍聴ご希望の方は、本日午後5時までに憲法会議（03-3261-9007）にご連絡ください（名前、職業、性別、年齢）。